

A study on the low cost production methods of
mesophase pitch based carbon fiber :
Enhancement of the yield of mesophase pitch and
shortening of the oxidation/stabilization time

島ノ江, 明生

<https://doi.org/10.15017/4060196>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	島ノ江 明生		
論 文 名	A study on the low cost production methods of mesophase pitch based carbon fiber -Enhancement of the yield of mesophase pitch and shortening of the oxidation-stabilization time- (高性能ピッチ系炭素繊維の低価格化に関する研究-前駆体ピッチの高収率化および不融化時間の短縮-)		
論文調査委員	主 査	九州大学	教授 尹 聖昊
	副 査	九州大学	教授 永長 久寛
	副 査	九州大学	准教授 宮脇 仁

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、炭素繊維の低価格製造の鍵となる技術についての研究を行ったものであり、原料の選択および処理工程の最適化により必要な材料的および機械的物性を有した炭素繊維用前駆体ピッチを高収率で製造できること、ならびに加圧によって炭素繊維製造における高コスト工程である酸化不融化処理時間を大幅に短縮できることを実験により証明したものであり炭素材料工学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。